

オリンピック聖火リレー開催

4月22日、本町で東京2020オリンピック聖火リレーが開催されました。国道33号線の県運動公園交差点から麻生交差点までの約1.2kmのコースを、6人（町選出2人、スポンサー枠4人）のランナーが聖火をつなぎました。

☎社会教育課文化スポーツ係 ☎ (962) 5952



町選出ランナーの声

一番思いを届けたいのは祖父で、私と同年代の時に東京オリンピックの聖火リレーを走っています。

4月22日は、実は私の誕生日で、今までで一番祝福された誕生日となりました。家族の勧めもあって応募して、選ばれるまでがトントン拍子で進み、気持ちが追い付かずに驚きのなかでのスタートとなりました。私にとって聖火は「希望の灯」です。

人生に一度という貴重な経験を通じ、地元に貢献したいという思いで応募しました。普段は1日で平均20kmを走っています。今回は1,000分の1の距離ではありましたが、とても濃く楽しい時間でした。コロナ禍でのオリンピックの開催という願いをもって、たくさんの人の思いが詰まった聖火を運びました。





1964年10月とべまち（広報紙）より

前回の聖火リレー

1964年開催の東京オリンピックでは、9月14日に森松から大平に向かうルートで聖火が繋がりました。町からは砥部中生6人、南高砥部分校生15人、一般9人の計30人がランナーに選ばれています。

関係区長や婦人会をはじめとする地域の人々が、沿道の清掃や接待などの支援をしていたと記録に残っています。

あそびべ、とべ。ニュース

映画「未来へのかたち」聖火台お披露目会



5月7日から全国公開された映画「未来へのかたち」の砥部焼で作られた聖火台のお披露目会が行われました。

この聖火台は白濁八洲彦さん（八瑞窯・写真左から3番目）を中心に多くの窯元が協力して

作り上げたもので、全高約4mあります。出演した俳優陣も制作に携わりました。

観光の新名所として多くの人が訪れることが期待されます。

日程 5月24日
場所 砥部焼伝統産業会館横
 町商工観光課 ☎ (962) 7288